

2024年登録ランドスケープアーキテクト（RLA）資格認定試験

二次試験（その1） 問題・解答用紙

注意事項

- ① 二次試験（その1）は、No.1、No.2の2問で、解答時間は2時間10分（130分）です。
- ② 問題用紙（下書き用紙含む）は、No.1が2枚、No.2が2枚で合計4枚です。
解答用紙はNo.1が1枚、No.2が1枚で合計2枚です。
- ③ 問題は全問必須ですから、2問すべてに解答してください。
なお、配点はNo.1が20点、No.2が20点で、40点満点です。
- ④ 解答用紙の全ページに受験番号をご記入ください。
- ⑤ 問題用紙、解答用紙はのり付けを切り放して使用してください。
- ⑥ 解答は、解答用紙に黒の鉛筆、シャープペンシル、またはペン等で記入してください。
下書き等に色を使用してもさしつかえありませんが、色を使った表現を解答した場合はその表現はすべて採点対象外となります。また、下書き用紙への記述はすべて採点対象外です。解答は解答用紙のみ記入してください。
- ⑦ 問題用紙の余白、下書き用紙は、計算等に使用してもさしつかえありません。
ただし、解答用紙には、計算等解答に関係のない記述はしないでください。
- ⑧ なお、二次試験（その1）は、No.1、No.2のそれぞれの採点結果を合計して評価いたします。
いずれかの採点結果が著しく低い場合は合格に至らない場合があります。
- ⑨ 試験終了後は、解答用紙をページ順に並べ、机の上に置いてください。係員が回収するまでそのままお待ちください。
- ⑩ 問題用紙は、試験終了時刻まで在席した方のうち、希望者に限り、持ち帰りを認めます。
途中退席した場合は、持ち帰ることはできません。

No. 1 土地利用ダイアグラムを作成しなさい

(配点：20点)

■出題テーマ

歴史・文化資源、自然を活かした観光の活性化による地方都市の再生

■課題

計画対象地は南西部を山林に囲まれ、東の一級河川に至る扇状地に市街地が形成されている。市内には多くの文化財があり、中心市街地には寺院と近年復元整備された史跡が町のシンボルとなっている。一方で、高速道路や新幹線などへのアクセス性が弱く、加えて、産業基盤の脆弱なことや急速に進行する人口減少など、都市再生が求められている。

インバウンドの増加に象徴される世界的なツーリズムの拡大の中で、計画対象地の長い歴史で培われた街並みや名産品、景観・人材・みどりに囲まれ河川の流れる自然など、豊かな暮らしを支えている基盤は、魅力ある個性的な観光地となりうる可能性を持っている。

こうした状況を踏まえ、次に示す計画地の現状と現況図を読み解き、出題テーマを踏まえたまちづくり計画の方針を述べるとともに、方針に沿った土地利用ダイアグラムを作成しなさい。

設問1：解答用紙の解答欄①～④に、示された箇所数の提案を、枠内に収まる範囲で箇条書きでまとめなさい。

設問2：凡例を参考に土地利用ダイアグラムを作成しなさい。図中に設問1で記述した拠点・ゾーン・軸またはルートを表示し、その名称または略称を添えること。(○拠点の整備、○○ゾーンの保全、○○軸の形成等)なお、拠点やルート等の整備に伴う現状の道路形状や土地利用の変更、建物の改修は可とする。

■計画地の現状

1. 市街地の状況

- シンボルとなる寺院、史跡の周辺には土産物店、飲食店が多く、更にその外縁には住宅や商業施設も立地した観光商業地区が形成されている。しかしながら密集や老朽化が目立ち、ゆとりのある安全な市街地の整備や訪問者への「わかりやすさ」が求められている。
- 駅周辺及び国道沿いは古くからの業務商業地となっており、観光商業地区とともに中心市街地を形成しているが、自動車利用の行動様式の変化への対応や新たな魅力の付加等の再整備が必要となっている。
- 中心市街地を挟むように南・北に山林があり、山林の中にある展望公園は、市街地を俯瞰でき、麓から山頂に至る花木の散策路とともに四季を通じて市民に親しまれている。
- 中央西には野球場、陸上競技場、プール等による総合運動場があり、市民スポーツの拠点になっている。
- 東西を貫く主要地方道を中心に全般的に住宅地が広がっているが、公園や緑地等の市民の憩いの場が不足している。

2. 開発計画

- 一級河川の東側に新駅の整備が計画されていることから、新駅周辺は開発機運が高まり、西側の既存鉄道駅に続く2つ目のまちの核になることが期待されている。
- 新駅の東側には大学キャンパスが誘致され、今後整備される計画となっていることから、若者が多く集まる新たな学園都市として賑わいを創出することが期待されている。

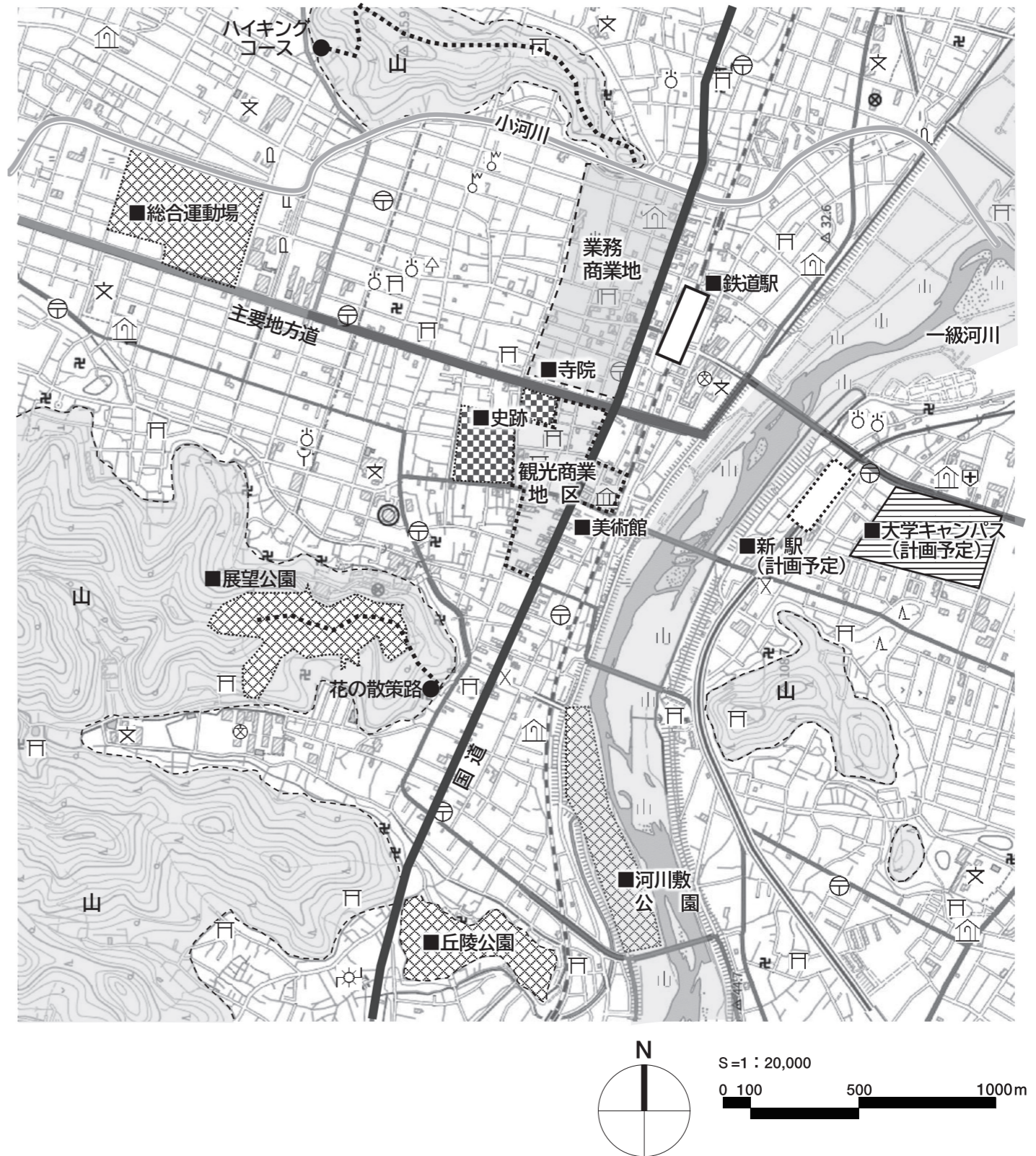
3. 環境・レクリエーション

- 中心市街地の東に、河川敷に運動場がある一級河川が流れ、夏には花火大会の会場になっている。
- 市街地の南と北は山地の樹林地が取り囲み、良好な環境と景観を形成しており、花木の多いハイキングコースは、市民に親しまれている。
- 中心市街地の北には、小河川が西から東に流れている。

■計画条件および留意事項

- 出題テーマや地形等の与条件を読み取り、ランドスケープアーキテクトとして求められる自然や景観を活かした計画を提案し、分かりやすい表現での土地利用ダイアグラムの作成を行うこと。

■現況図



| | | | | |
|-----|---|------------|---|------------|
| No. | 1 | 土地利用ダイアグラム | 1 | RLA 資格認定試験 |
| | | 問題用紙 | 2 | |

設問-1. 以下の各課題について、指定された項目数の方針を記述しなさい。

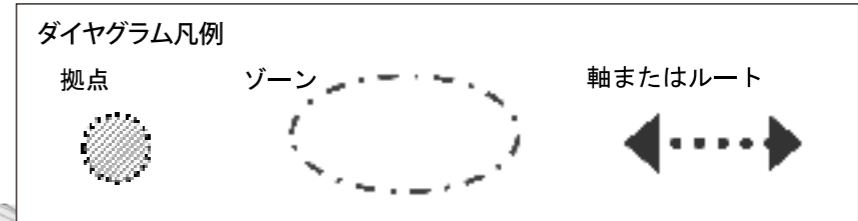
- ① 出題テーマに沿って、『歴史・文化資源、自然を活かした観光の活性化による地方都市の再生』の方針について、目指す方向性や施策を箇条書きで記述しなさい【2項目】

- ② 歴史・文化資源、自然を活かした観光の活性化に資する「拠点の整備」について、その項目と内容を箇条書きで記述しなさい【3箇所】

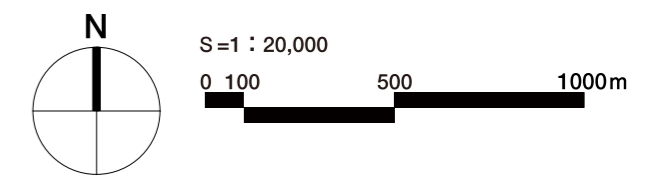
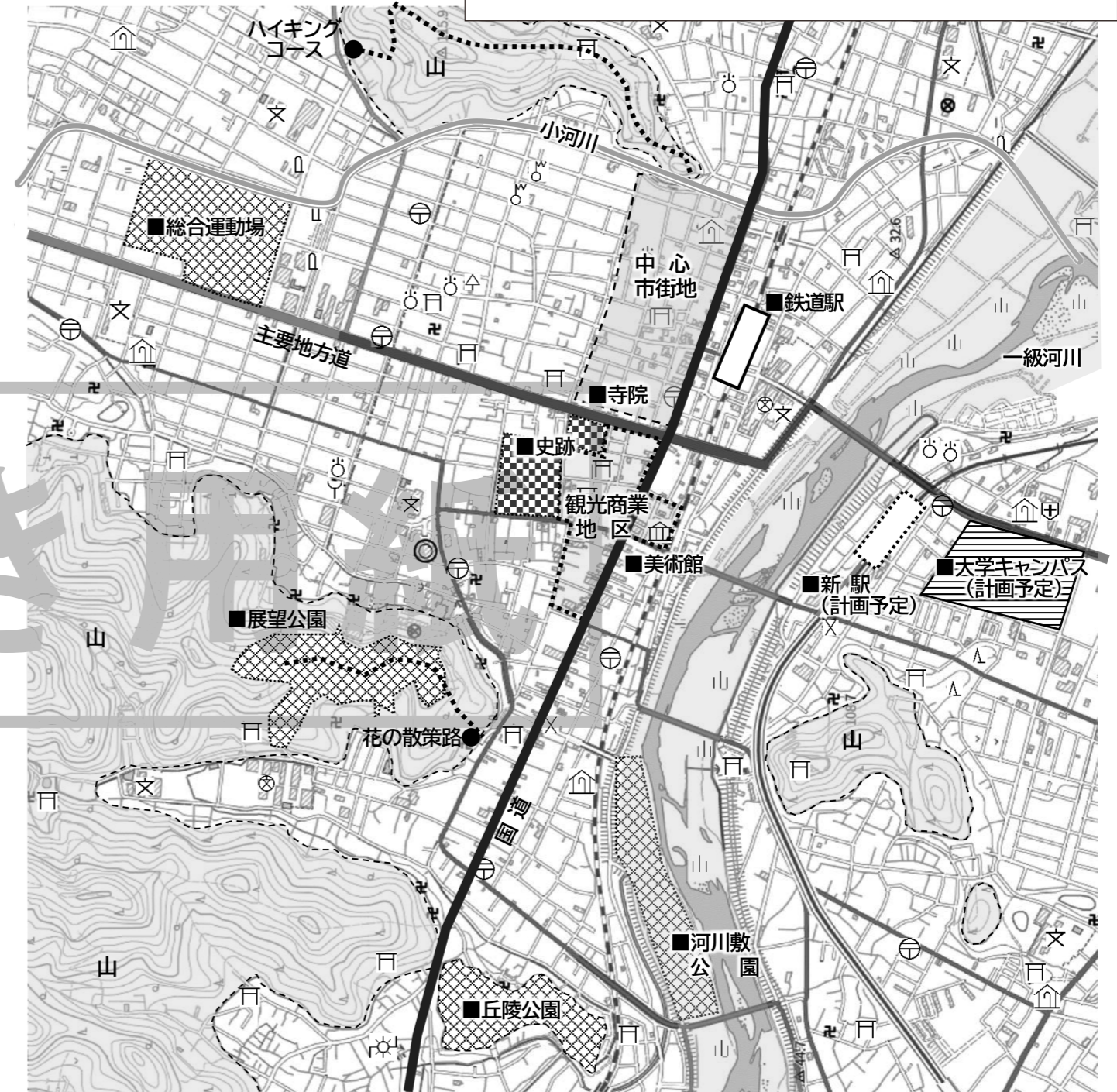
- ③ 地方都市の再生につながる「ゾーンの設定」について、その項目と内容を箇条書きで記述しなさい【4箇所】

- ④ 地方都市の再生につながる「軸またはルートの設定」について、その項目と内容を箇条書きで記述しなさい【3項目】

設問-2. 課題1で記述した「拠点」、「ゾーン」、「軸またはルート」を、下記の凡例に示す表現を参考に図示し、その名称（略称でもよい）を添えて土地利用ダイアグラムを作成しなさい。



■現況図



| | | | | |
|-----|-------------|---|--|-------------|
| No. | 土地利用ダイアグラム | 2 | RLA 資格認定試験 Registered Landscape Architect | 解答用紙ではありません |
| 1 | 問題用紙(下書き用紙) | 2 | | |

No. 2 敷地計画図を作成しなさい

(配点：20点)

■出題テーマ

海辺の新市街地におけるビオトープのある公園計画

■課題

計画対象地の位置する場所は、大都市近郊の鉄道駅近くの海辺の新市街地であり、高度経済成長期に工業用地として潟湖干潟や砂浜を埋め立て開発された土地である。その後、社会環境の変化により商業住居系の土地利用主体に転換され、今ではGX（グリーントランスフォーメーション）推進のモデル都市として、埋め立て前の潟湖干潟が復元された大規模な海浜公園、並木の整備された広幅員道路、各街区には駅と各街区間をつなぐ地上とペDESTリアンデッキの2層の歩行者空間の整備が進んでいる。

本計画はその一角に、周囲の街づくりとの連携に配慮した公園をP-PFIにより整備するものである。

設問1. 占用施設である建築棟とその付帯施設を平面図に配置しなさい。

設問2. 計画条件に示すビオトープなどの諸施設を平面図に配置しなさい。

設問3. 上記の計画で配慮した事項と計画条件で指示のある事項について簡潔に記述しなさい。

■敷地条件

- 敷地北側の大型商業複合施設2階レベル（GL+6m）にペDESTリアンデッキが整備され、そのデッキは駅からつながる歩行者ネットワーク東端にあたる。
- 敷地北側の大型商業複合施設1階には複数の飲食店舗が南側に顔を向けて並び、ペDESTリアンデッキ下の空間と地上レベルの歩行者空間はイベントスペースとしても利用されている。
- 敷地東側には大型商業複合施設敷地と駅を結ぶシャトルバス用のバスロータリーが整備されている。
- 敷地南側の広幅員道路は街のメインストリートになっており、並木のある歩道が整備されている。
- 敷地南側の広幅員道路を挟み海浜公園があり、ペDESTリアンデッキへの接続が望まれている。園内の干潟は自然保護区であり、公園管理棟の屋上（GL+6m）はその干潟を観察できる庭園となっている。
- 敷地西側は現在の街づくり以前にできた倉庫が立地し敷地側には緑地（既存林）が整備されている。
- 敷地はおおむね平坦であるが、敷地北側から南側の海に向かって緩やかに下る水勾配程度の傾斜がある。

■計画条件

1. 建築棟（占用施設）

- 街づくりやビオトープでの環境学習の拠点となる建築棟（解答用紙参照）を配置すること。環境学習室からは直接ビオトープの水面を観察できるように、カフェは芝生広場と一体的に利用できるようにする。
- なお、屋上にはペDESTリアンデッキと同じレベルのデッキスペースがあり、そこから公園へアクセスするための屋外階段とEV（エレベーター）の配置に配慮する。

2. 森

- 周辺環境との連続性に配慮した面積約1,200㎡のまとまった形状の森を計画する。

3. ビオトープ

- 池（水面=GL-2m）の傍らにエコトーンが形成された面積約2,000㎡（池を含む）のビオトープとする。なお、海浜公園の干潟が自然保護区であるのに対して、本計画対象地のビオトープは環境学習等で立ち入れるものである。
- 敷地の地形を考慮して自然に雨水が集まる場所に計画する。（※掘削土の扱いや池の給排水は考慮不要）
- 建築棟と森を接続する栈橋（幅2m以上の木道で、水面付近まで階段で降りて自然観察を行う）を計画する。（※バリアフリー用のスロープは計画しなくてよい。）

4. ペDESTリアンデッキ

- 計画対象地を経由して敷地北側大型商業複合施設と海浜公園管理棟屋上を最短経路で接続するペDESTリアンデッキを計画する。なお、ペDESTリアンデッキは幅6m、デッキ面の高さGL+6mとする。（※横断歩道上部を含め平面的な接続位置は任意に設定して良い。）
- ペDESTリアンデッキ下部は、公園地上レベルでの歩行者空間や日除けとして利用できるように、かつ、敷地に隣接するバスロータリーのバスシェルターへの動線として利用できるように配置する。

5. 芝生広場

- 大型商業複合施設1階南側の店舗との連携や一体利用に配慮した位置に面積約1,200㎡の芝生広場を計画する。

6. 園路

- 敷地北側歩行者空間と南側歩道を結ぶ動線を2経路以上敷地内に確保し、各施設を周遊できる幅2m以上の園路とする。なお、動線はペDESTリアンデッキ下部や敷地外の歩道や歩行者空間を兼用・経由して良い。

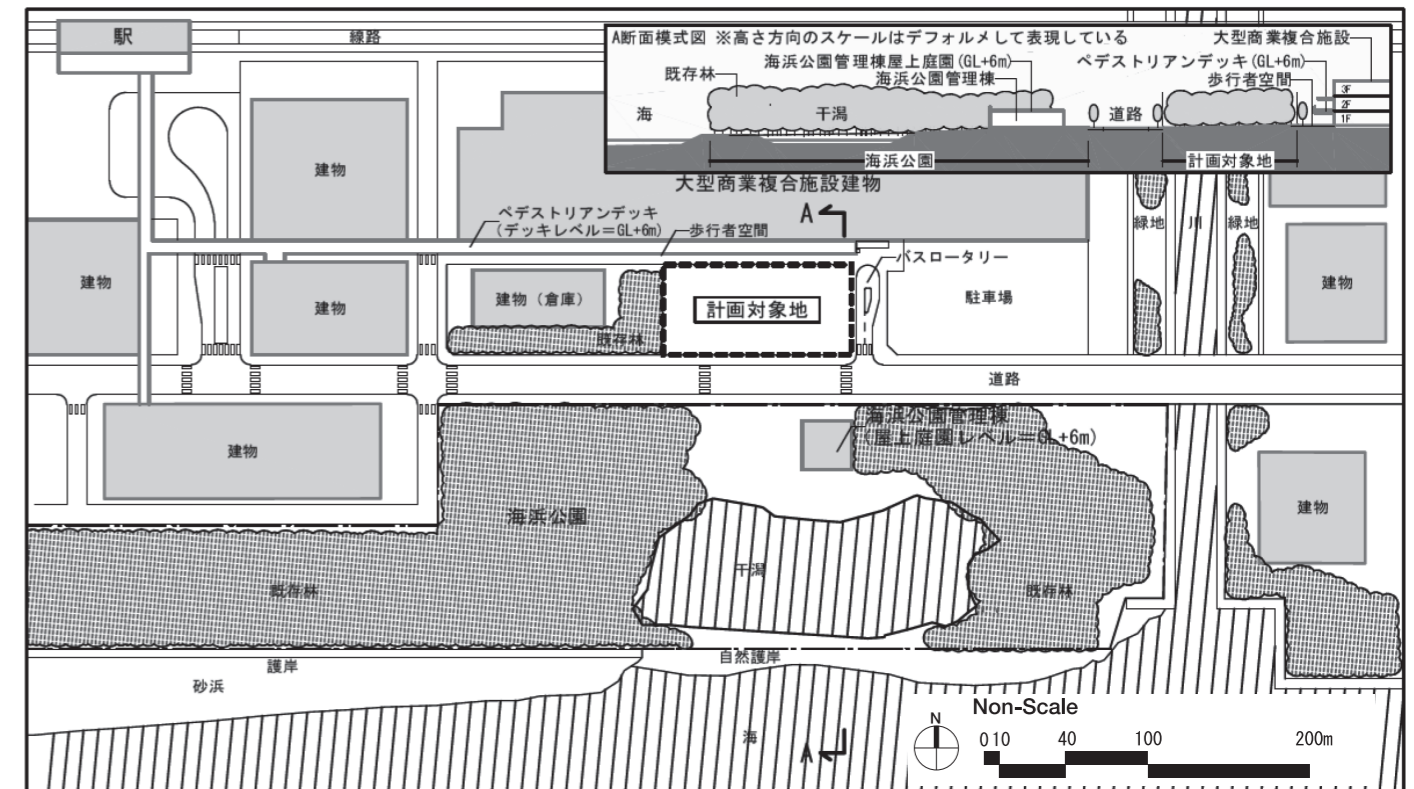
7. 植栽、その他

- 計画する各施設や敷地周辺の環境と機能に応じて、植栽と休憩施設（ベンチなど）を配置する。

■解答における留意事項

- 建築棟は解答用紙に示した凡例に従い、図示すること。図示する内容は、解答用紙に示されている1階レベルの外郭線（外壁を示す太線と上部デッキ位置を示す太点線）と階段及びEV、出入口記号、室名のみで良い。
- ペDESTリアンデッキはその位置と形状がわかるように太点線で示すこと。柱などの表現は不要とする。
- 各計画施設は、その概要が分かる程度の表現で良いが、必要に応じて寸法や面積等を記入すること。
- 敷地計画図として適切な図面表現とすること。分かりやすく見やすい図面とするように努めること。

■敷地周辺図



| | | | |
|-----------------|------|---|--|
| No. 2 | 敷地計画 | 1 | RLA 資格認定試験 Registered Landscape Architect |
| | 問題用紙 | 2 | |

設問-1. 以下の各課題について、指定された項目数の方針を記述しなさい。

- ① 出題テーマに沿って、『歴史・文化資源、自然を活かした観光の活性化による地方都市の再生』の方針について、目指す方向性や施策を箇条書きで記述しなさい【2項目】

- ② 歴史・文化資源、自然を活かした観光の活性化に資する「拠点の整備」について、その項目と内容を箇条書きで記述しなさい【3箇所】

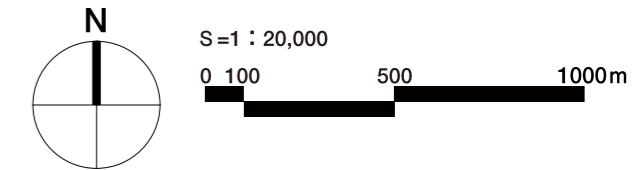
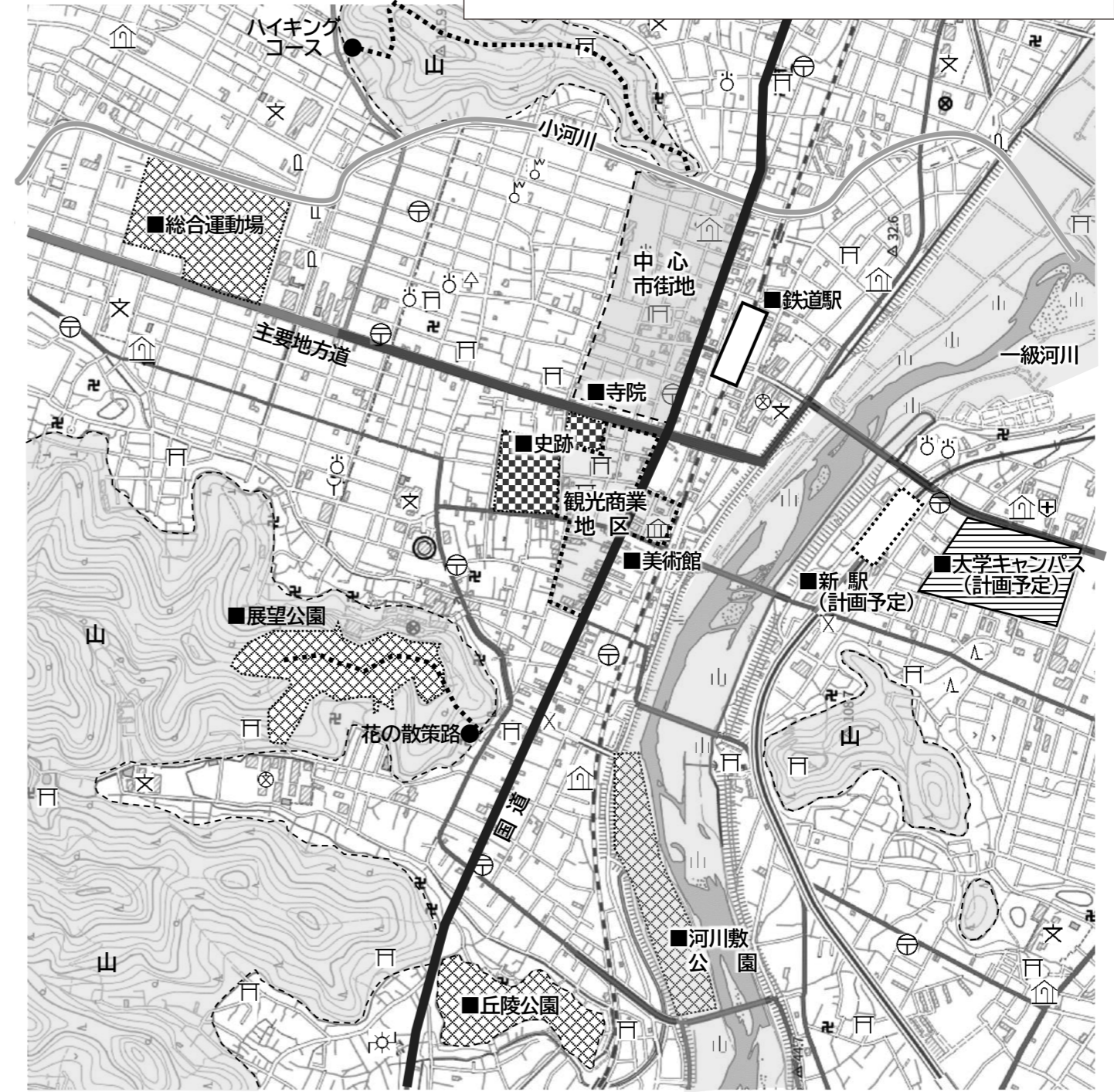
- ③ 地方都市の再生につながる「ゾーンの設定」について、その項目と内容を箇条書きで記述しなさい【4箇所】

- ④ 地方都市の再生につながる「軸またはルートの設定」について、その項目と内容を箇条書きで記述しなさい【3項目】

設問-2. 課題1で記述した「拠点」、「ゾーン」、「軸またはルート」を、下記の凡例に示す表現を参考に図示し、その名称（略称でもよい）を添えて土地利用ダイアグラムを作成しなさい。



■現況図



| | | | | | | | | |
|-----------------|------------|---|---|----------|--|--|--|--|
| No. 1 | 土地利用ダイアグラム | 1 | RLA 資格認定試験 Registered Landscape Architect | 受験 番号 | | | | |
| | 解答用紙 | 1 | | | | | | |

